

令和6年度

自己評価・学校関係者評価報告書

あけぼの幼稚園

1, 本園の教育目標

- ・キリスト教的「愛」に基づき、総てに対する思いやりの心・感謝など小さな親切の実行ができる子ども
- ・友達の良さを認めあい、お互いに力を出し合って自分たち自身で考え行動できる主体性を伸ばす保育
- ・集団生活の中での善悪の分別・互いの気持ちに共感し、相手の立場になって行動できるよう道徳性や規範意識を培う保育
- ・豊かな体験を通じ子ども達の感性を磨き、探求する姿、意欲的に行動できる力を育む保育

2, 本年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己評価の実施を行い、自己のクラス運営を見直し、新たな課題に取り組んでいく

3, 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	災害時対策	B	・避難訓練方法の見直し・検討を実施 ・環境整備の見直し(避難経路の不具合の調整工事・トランシーバーの導入・家具の固定・防火ロールカーテンの交換 等) ・職員にも知らせていない避難訓練の実施
2	保護者または地域への情報発信	A	・Instagramのこまめな配信 ・れんらくアプリをつかったあけぼのだより・ニュースレター等の掲載 ・ニコニコひろばの実施 ・地域の方も参加できる講習会の開催
3	他学年の交流	A	・他学年が交わりお集まりやゲーム・正月遊びなどの交流の機会を頻繁に設けた。 ・他学年の担任がお集まりをするなど先生の交換の機会を5回ほど実施 ・年長組は年少組の朝の支度の手伝い・2歳児クラスたまご組と一緒にあそぶなど年下の子の世話をする機会を設けた ・年上クラスのお集まりやおしごとの見学をして次の学年への期待をもたせた

4、総合的な評価結果

評価	理 由
A	・災害時対策の避難訓練では、職員に告知なしの訓練でも基本の流れでは対応に困ることはなかったが、もし違う状況だったら焦ってしまうかもしれない。職員に告知なしで様々な状況(子どもが自由遊び中・トイレや水飲みなど部屋に全員がいない状況など)の訓練ももとしておきたい。 ・消防署の方の消火訓練など外部の指導者をお招きして実践をしたり、お話をお聞きたい。 ・保護者などへの情報発信はInstagramを頻繁に配信することができ、子ども達の園での様子をお知らせすることが出来たことはよかった。 ・他学年の交流の機会を設ける事で、子ども達も上の学年になったらどのような姿になりたいのかをイメージすることができ、年下の子に優しく接する大切さや難しさを学ぶよい機会となった。 ・他学年の担任の保育をみることで、声掛けの方法、子どものひきつけ方、その学年の子どもの育ちを実際に感じる事が出来てよかった。 ・交流を通して、普段関われない子ども達の顔や名前が覚えられたことがよかった。

評価

A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった

5、今後の取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	災害・防犯対策	・職員に告知せず様々な状況の避難訓練の実施 ・消火訓練・防犯に関する講話など消防署や警察の方による指導
2	保育者自身の資質向上	・個々の目標を持ち、発表する場・振り返りの場を設け、悩みや相談なども情報を共有する。 ・外部の研修会の積極的参加
3	子どもが物事に集中する力を育む	・集団生活時に話を聞く、座る、意欲的に取り組む、または集中力が持続するような保育の工夫。 ・日頃から適度に外遊びや体を動かす活動を取り入れる ・絵本をよむ機会を増やし、落ち着いて話を聞く習慣を身に付けさせ、言語能力や表現力、想像力なども育む。

5、幼稚園関係者評価委員会の評価

親も先生方に相談しやすく、子ども達が先生方を信頼しているのはもちろんだが、担任や補助の先生方数名で30数名の子ども達を一人一人見てフィードバックして下さっているのがとてもよく伝わっています。学年を超えても名前をおぼえてくださっているのは、保護者にとっても安心できる、親身に相談に乗っていただけるそんな先生方に恵まれて、そこもあけぼの幼稚園のよさだなと感じています。